

2016

仙台市中小企業活性化に向けた主な取組み

平成 28 年 1 月

仙台市経済局

平成28年度における中小企業活性化に向けた主な取組みの概要

現状・ニーズ

中小企業を取り巻く環境

- ・復興需要の減少
- ・若者の首都圏等への流出
- ・少子高齢化や人口減少の進展
- ・将来的な消費の減少や経済の停滞による需要の減衰

仙台市中小企業活性化会議における主な意見

- ・起業のフロンストップ支援体制を整備・拡充すべき。
- ・起業支援と併せて既存中小企業の新事業展開支援も必要。
- ・様々な業種に横串を刺し、連携を促進するべき。
- ・中小企業の人材確保に向け、学生が企業を知る機会を設けて欲しい。
- ・中小企業の採用力向上のための支援が必要。
- ・Uターンにより人材の還流を生み出すべき。
- ・中小企業を支援する人材を育成する仕組みが必要。
- ・経営者や従業員が学び合う場が必要。
- ・相談窓口が集約された拠点を整備して欲しい。

主な取組み

I. 地域の成長をけん引する中小企業のチャレンジ促進

地域経済活性化に向け、中小企業が新たな活力を生み出し続けるために、起業・第二創業を支援するとともに、経営基盤の強化や地域をけん引する中核となる中小企業の育成に取り組む。

- (1) 地域の新たな活力の創出に向けた起業・第二創業支援
「アジスタ」を中心に起業のフロンストップ支援を行うとともに、起業や第二創業の啓発・促進を図る。
- (2) 経営力・競争力強化支援
多様なニーズに応じた経営相談や専門家派遣、販路拡大、新事業展開支援など経営力・競争力強化を図る。
- (3) 多分野との連携による中小企業の成長力強化
多様な産業分野との連携促進により、中小企業の経営強化、イノベーションの促進を図る。

II. 中小企業で活躍する人づくり

少子高齢化や首都圏への人口流出等により人材不足に苦慮する中小企業に対し、持続的な経営の実現に向け、人材確保・育成等の支援に取り組む。

- (1) 地元大学等と連携した、学生の地元定着向上支援
地元大学等との連携により、学生自身による地元中小企業の魅力を発信する取組みを推進し、学生の地元定着率向上を図る。
- (2) 人材確保・育成に向けた企業支援の強化
人材に関する課題解決に向け、各種セミナーや合同説明会、キャリア教育などの多様な支援を行う。
- (3) 多様な人材マッチング支援
首都圏等からのUターン就職を促進するなど多様な人材と中小企業とのマッチングを支援する。

III. 中小企業支援体制の強化

中小企業のニーズに応じたきめ細かな支援体制を構築するため、支援拠点の強化を図り、中小企業支援のノウハウを活用した交流の場づくりに取り組む。

- (1) 中小企業の成長に向けた人材の育成
デザイン活用を通じて中小企業を支援する人材やイノベーションを生み出す人材などを育成する。
- (2) 経営者の交流・学び合いの場づくり
経営者・起業家同士のネットワーク形成による経営課題の解決に向け、交流や学び合いの機会の充実強化を図る。
- (3) 中小企業活性化に向けた支援拠点づくり
中小企業活性化の総合支援拠点を整備し、中小企業のニーズに応じたきめ細かな支援を行う。

「2016 仙台市中小企業活性化に向けた主な取組み」策定の背景と目的

東日本大震災から間もなく5年が経過しようとする中、本市事業所の大部分を占める中小企業は、復興の進展による復興需要の減少や、人材確保難などの課題に直面している。

また、震災以降、本市の人口は増加傾向にあるものの、本県を含む東北は少子高齢化や人口の減少が加速しており、将来に向け、消費の減少、経済の停滞による生産の減衰など、中小企業を取り巻く環境はさらに厳しさを増すことが予想される。

これに対し、中小企業は、人材の育成・確保や販路拡大、事業承継・後継者確保といった課題の解決に取り組みながら、経営の高度化や技術の向上などの経営基盤の強化を図ることが必要であり、また、地域経済活性化のためにも、中小企業による社会ニーズに対応した新たな取組みの推進とともに、女性や若者が地域で暮らしていけるよう、雇用の場を創出していくことが重要になる。

こうした状況を踏まえ、本市は、地域経済の中核である中小企業の活性化を図るため、平成27年4月に中小企業活性化条例を施行し、条例に基づき設置した中小企業活性化会議において、議論を重ねてきた。

ここに、これまでの議論を踏まえ、平成28年度における中小企業活性化に向けた主な取組みを定め、事業者、中小企業振興団体、大学等の研究機関、市民等と連携及び協力し、地域一体となって中小企業活性化の取組みを戦略的に推進していく。

I 地域の成長をけん引する中小企業のチャレンジ促進

地域経済の活性化には、本市経済の中枢を成し、雇用創出の役割を担う中小企業が、持続的に新たな活力を生み出し続けることが重要である。

震災以降、本市では起業マインドが高まっているが、この機運は地域に新たな活力・刺激を創出し、雇用の場の拡大の観点からも重要であることから、引き続き重点的に支援する。

また、地域経済の持続的成長に向けて地域の「稼ぐ力」を高めるため、国家戦略特区のメニューも活用しながら、地域外需要獲得力のある産業との連携や、地域資源を活用した新製品・新技術の開発による国内外の市場開拓などにより、地域をけん引する中核企業となる中小企業の育成に向けた取組みを進める。

(1) 地域の新たな活力の創出に向けた起業・第二創業支援

■ ①起業啓発・促進

起業家応援イベント等の啓発・促進の取組みを進めるとともに、首都圏からの起業人材の誘致・育成、コミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの促進を図る。

■ ②起業支援センター活用促進

起業の促進及び起業後の経営の安定化に向け、状況に応じた個別相談等を実施する。また、多様な交流機会の提供や有望なビジネスプランの実現に向けた取組みを進める。

■ ③共感型民間資金調達基盤整備

民間資金の調達手段であるクラウドファンディングの普及・活用促進を図り、仙台・東北地域における新事業創出や第二創業の促進を目指す。

■ ④事業承継支援

中小企業経営者の高齢化が進展する中、セミナーや専門家派遣を通し、事業承継の円滑化に向けた支援に取り組む。

(2) 経営力・競争力強化支援

■①提案型中小企業活性化推進

市内民間事業者及び中小企業振興団体等の現場からの視点に基づく企画提案により、官民連携の手法による中小企業活性化を推進する。

■②首都圏等への地域産品販路開拓支援

中小企業の販路開拓を支援するため、首都圏等で開催される商談会への出展や、全国の産業支援機関と連携した域外プロモーションの機会の提供等を行う。

■③中小企業総合支援

中小企業の収益力回復、経営の継続等に向け、商品開発、営業力強化等の経営課題の解決を図る。

(3) 多分野との連携による中小企業の成長力強化

■①IT 産業国際連携

IT 産業における起業促進に向け、フィンランド・オウルとのネットワークを活かし、中小企業の海外展開支援や若手人材の育成を図る。

■②クリエイター等データベース整備

仙台発のデザイン性に優れた商品・サービスや在仙クリエイターの情報などをウェブサイトにより市内外に発信し、それらの認知度向上等を図る。

■③地域企業ブランディング支援

ブランディングに課題を抱える事業者を対象に、専門家チームによる集中支援を実施し、販路拡大や売上向上を図るとともに、若手人材の育成を促進し、地元定着の向上につなげる。

■④フードビジネスマッチング

商品企画のアイデアを基に、農産物を使用した商品企画に参画する事業者のネットワーク化を図り、商品化を推進する。

II 中小企業で活躍する人づくり

少子高齢化や首都圏への人口流出、学生の大手企業志向、早期離職等により、本市中小企業は人材確保・育成・定着、後継者不足への対応に苦慮している。

中小企業が優秀な人材を確保し、持続的な経営ができるよう、女性や若者をはじめとする多様な人材の発掘、紹介、育成、定着に至るまできめ細かな支援の取組みを進める。

(1) 地元大学等と連携した、学生の地元定着向上支援

■①大学生地元定着推進

地元大学等と連携しながら、中小企業の魅力等を学生や保護者などに対して発信し、地元中小企業の認知度向上を図ることにより、学生の地元定着を推進する。

■②若年者就業支援

若年者の就職支援に向け、各種セミナーの開催、合同企業説明会、インターンシップに取り組むほか、併せて個別相談の充実を図る。

(2) 人材確保・育成に向けた企業支援の強化

■①中小企業人材確保・人材育成

中小企業が抱える人材育成・確保に関する課題解決を図り、地元定着率の向上や後継者育成、雇用のミスマッチ解消等を目指す。

■②IT人材育成支援

IT関連産業の新規開業を促進するため、地域企業や大学等と連携し、若手IT人材のIT技術およびビジネススキルの向上に向けた取組みを進める。

(3) 多様な人材マッチング支援

■①U I J ターン就職促進

首都圏の人材のU I J ターン就職を促進することにより、中小企業の人材確保を図る。

■②情報提供・情報発信

地元中小企業で働く意義や魅力を紹介する情報の発信や各種セミナー等の開催により、学生等の地元就職を促進する。

Ⅲ 中小企業支援体制の強化

本市経済を支える中小企業は、経営資源に余裕がないケースが多く、人口減少や少子高齢化による需要減少と人手不足により、厳しさが増している。

中小企業のニーズに応じたきめ細やかな支援体制を構築するため、「仙台市情報・産業プラザ」を新たに「中小企業活性化の総合支援拠点」と位置付け、(公財)仙台市産業振興事業団が持つ関係団体や他都市の支援団体などとのネットワークや中小企業支援に関するノウハウを活かしながら、人材育成や経営者の交流・学び合いの場づくりを推進し、中小企業の経営基盤の強化に向けた取組みを進める。

(1) 中小企業の成長に向けた人材の育成

■①デザイン活用による高付加価値化支援

中小企業の新たな付加価値の創出に向けて、中小企業と協働できるクリエイターの育成を図るとともに、中小企業とクリエイターのマッチングを促進することにより中小企業のデザイン活用を推進する。

■②イノベーション人材育成

イノベーションを生み出す人材を育成するため、新たな発想を引き出すイベントや新規ビジネスモデルの検討に取組む機会を提供する。

(2) 経営者の交流・学び合いの場づくり

■①中小企業経営者層による意見交換会

中小企業経営者層を対象に意見交換会を開催することにより、中小企業の抱える課題を抽出するとともに、学び合いの場を提供する。

■②仙台ビジネスウィーク

本市経済施策の浸透を図るため、短期集中的な施策PRイベントに取組み、各種施策の活用を促進する。

■③中小企業向け表彰制度

地域貢献、魅力的な職場環境づくりに取り組む市内中小企業を発掘し、表彰することにより、中小企業の認知度向上による従業員のモチベーション向上及び若者の地元定着率の向上を図る。

(3) 中小企業活性化に向けた支援拠点づくり

■ 仙台市情報・産業プラザ改修等

仙台市情報・産業プラザのあり方の見直しを行い、中小企業支援の拠点とするため、施設の一部改修等を進める。